

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーB 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	根岸史人			実務 経験	有	職種	放送業務				
授業概要											
将来放送業界に進むにあたり、TV放送における音声業務の役割を理解してもらうことが狙いである。日々進歩する技術に対応できるよう、音声技術の最低限の基礎・基本を身につけるとともに、2年次に受験予定の「映像音響処理技術者資格認定試験」の音の分野を先行して学ぶ。											
到達目標											
放送業界へ進むにあたり、最低限の音声技術に関する基礎知識を身につけ、番組制作の過程で音に関することの準備・考えることが出来るようになることが目標である。音の分野の視点から、業界全体の事を学び、自身の進む分野への活用方法を見出す。											
授業方法											
テキストを毎回配布し、重要ポイントをテキストに書き込み、映像の視聴を交えながら、目で見えない音の表現を理解できるようにする。音の分野に特化した映像だけでなく、他分野の特出的な演出映像も視聴し、興味・理解できるようにする。											
成績評価方法											
学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	TV音声スタッフの役割と仕事内容										
第2回	音の基礎知識（音の三要素とデシベル）										
第3回	音を録るマイクロフォンについて										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
放送芸術科	
映像リテラシーB 2	
第4回	マイクレベルとラインレベルとは？
第5回	音の伝送方法
第6回	コネクタの種類と名称
第7回	音声用語(1)(技術用語)
第8回	音声用語(2)(演出用語)
第9回	仕込み図・系統図の基礎知識
第10回	MAの基礎知識
第11回	タイムコードの基礎知識
第12回	音声信号のデジタルとアナログについて
第13回	音声調整卓の基本的役割
第14回	音声卓への外部接続機器の役割
第15回	試験対策